

様式第6号(第18条関係)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和6年5月1日

宮崎市長 清山 知憲 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296番地3
名 称 大塚地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名 会長 松田 博
電話番号 53-4047

令和6年1月17日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 収支決算書又は収支決算（見込）書
- (ロ) 事業実施報告書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書
- (ホ) 地域まちづくり推進委員会備品管理台帳の写し
- (ヘ) 地域協議会の意見書

（様式第5号）

大塚地域自治区
大塚地域まちづくり推進委員会

1 総括

インフルエンザ集団流行により1事業のイベントが実施できなかったが、18事業は計画どおり実施できた。昨年度は4事業がコロナ禍で行事が中止になったので、久しぶりのイベント等で地域住民には大変喜んでもらった。また、地域の課題解決のための生活支援事業の話し合いが各地域団体が集まり進んでおり、来年度には実施の方向でいる。今後も引き続きビジョンの検証を行い、大塚地域の課題解決に取り組んでいきたい。

(1) 収入の部

項目	予算	決算	差	備考
基礎交付金	4,237,000	4,237,000	0	
繰越金	1,425,043	1,425,043	0	
補助金	0	0	0	
負担金	1,845,000	1,258,443	▲ 586,557	
その他	15	38	23	銀行利息23、 積立基金より 15
合計	7,507,058	6,920,524	▲ 586,534	

(2) 支出の部

分野	事業名	実施年数	予算	決算	差	備考
防	見守り活動事業	15年目	235,000	194,840	▲ 40,160	
防	防災訓練事業	15年目	500,000	196,266	▲ 303,734	
防	防災力の向上事業	12年目	80,000	59,727	▲ 20,273	
防	防災充実事業	12年目	600,000	599,360	▲ 640	
福	生活支援事業	7年目	20,000	12,790	▲ 7,210	
福	スマイル大塚事業	14年目	85,000	53,113	▲ 31,887	
福	健康づくり事業	7年目	25,000	17,525	▲ 7,475	
福	男女共同参画社会づくり事業	15年目	50,000	41,425	▲ 8,575	
福	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業	3年目	20,000	18,569	▲ 1,431	
環	水流川クリーンアップ事業	13年目	500,000	474,609	▲ 25,391	負担金 34,936
環	ダンボールコンポスト事業	12年目	160,000	117,997	▲ 42,003	負担金 15,500
環	ペットマナー向上事業	9年目	80,000	70,297	▲ 9,703	
伝	大塚音頭普及促進事業	11年目	63,000	21,197	▲ 41,803	
健	健康増進事業	6年目	52,000	41,302	▲ 10,698	
教	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業	13年目	30,000	6,431	▲ 23,569	
教	江南小学校地区体育祭共催事業	13年目	713,000	62,200	▲ 650,800	インフルエンザ 集団流行により 行事中止
教	大塚町体育祭共催事業	13年目	710,000	694,712	▲ 15,288	負担金 534,609
他	祭り大塚共催事業	3年目	1,546,000	1,419,345	▲ 126,655	負担金 673,398
他	まちづくり充実事業	10年目	2,038,058	1,677,417	▲ 360,641	
	小計		7,507,058	5,779,122	▲ 1,727,936	
	繰越金			1,141,402	1,141,402	
	合計		7,507,058	6,920,524	▲ 586,534	

3 実施報告

〔1〕防犯・防災に係る事業

事業名	見守り活動事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり) ◎地域住民のコミュニケーションを充実させ、絆を結ぶ。 2. 安全・安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉) ◎地域の防犯、交通事故防止につなげる。														
目的(期待される効果)	・大塚地域の子ども達の見守り活動を通して地域の安全確保を図り、加えて交通マナーの向上を推進する。														
事業内容・手段	(1) 小学校交通安全教室支援 江南小学校は5月17日グラウンドにて実施。各見守り隊参加 大塚小学校は5月25日にグラウンドにて実施。各見守り隊参加 (2) 見守り活動 内 容 あいさつ運動を実施 実施時期 5月22日、23日、24日 10月16日、17日、18日 実施場所 各学校正門、見守り会員の各担当場所 (3) 青色パトロールはやぶさ会支援等 実施時期 1年間 内 容 日常の登下校時の見守り活動 (4) 危険個所での足形マーク塗り替え作業、白色スプレー缶購入 実施時期 令和5年5月～ 実施場所 上区 中区、南区、令和5年度中に実施 (5) 5月9日見守り代表者会実施														
事業費	194,840円														
対象者	地域住民														
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>1,039人</td> <td>1,014人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>461人</td> <td>490人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,500人</td> <td>1,504人</td> </tr> </tbody> </table> 一般参加者…交通指導員、スタッフ…見守り隊、青色パトロールはやぶさ会の総人数 あいさつ運動参加人数			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	1,039人	1,014人	スタッフ	461人	490人	合 計	1,500人	1,504人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	1,039人	1,014人													
スタッフ	461人	490人													
合 計	1,500人	1,504人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童、生徒が元気よく挨拶をしてくれるので朝から元気をもらえた。 ・回を重ねる毎に子供たちの声が大きくなり、顔を見て挨拶する児童が多くなった。 ・のぼり旗設置は、特に公園・公民館などでは効果があるとの声が上がった、運動は各3日間だが登り旗は1ヶ月立てた。 ・自転車通学の高校生から自発的に挨拶が有り嬉しかった。 ・のぼり旗が各地域ではためいていると、地域全体で活動している実感が湧いてきた。 ・交通安全教室を久しぶりに実施したが児童と一緒に交通マナーを研修できて良かった。子供たちとの対面も間近で出来て良かった。 ・今回は学校職員、児童、生徒、まちづくり部会員、見守り会で取り組んだが家庭、地域全体の活動まで広めたい。 ・他部会からの参加が少ないので、まちづくり全体の事業としての意識を高めていきたい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校職員の、協力も増え、防犯・交通事故防止につながった。	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシを作成し学校、地域自治会にも配布し、掲示板にも掲載。PTAにも配信。
	②住民の参加	B	A	地域の事業として根付かせたい。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	他の部会員への参加を増やし全体で取り組んだ。	事業の必要性	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	B	警察や団体との連携により安全面の情報の共有化を図った。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動のお礼として、見守り委員の自宅郵便受けに感謝状が届いた。子供たちにも見守り隊の活動に感謝の意識が強い。 ・見守り活動の事例発表を小戸地区まちづくりにて行った。大塚地区のまちづくり活動のアピールが出来た。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>警察や地域団体との情報交換会や小学校が開催する交通安全教室への参加を通し、学校や警察機関等と情報を共有しながら、来年度も、見守り活動組織、青色防犯パトロールを支援し、地域に根差した地域の安全確保に努めていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で作された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	防災訓練事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎中学生や子ども会へ防災訓練参加の呼びかけする。 2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎災害時に緊急対応ができるように備える。														
目的 (期待される効果)	地域住民の防災意識の高揚などを図るため、8自治会でそれぞれ目的に沿った訓練を実施し、災害時の緊急対応が果たせるように備える。														
事業内容・手段	(1) 防災訓練、防災倉庫の点検実施 実施日 令和5年 9月24日 南区防災訓練 11月 5日 宝塚防災訓練 11月25日 上区防災倉庫点検 11月26日 りんどうヶ丘防災訓練 令和6年 1月21日 下区防災倉庫点検 2月25日 中区防災訓練 3月10日 大淀台防災訓練 会場 各自治会公民館、防災倉庫設置公園 内容 ほとんどの自治会が例年通りの防災訓練を実施できた。 防災訓練を実施できなかった自治会は自主防災隊で防災倉庫の点検を行った。 (2) 情報伝達訓練 実施日 令和5年9月3日 内容 8自治会への避難指示の伝達訓練														
事業費	196,266 円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>690人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>80人</td> <td>448人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>770人</td> <td>448人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	690人	—	スタッフ	80人	448人	合計	770人	448人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	690人	—													
スタッフ	80人	448人													
合計	770人	448人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅から指定避難所まで歩きながら避難経路確認と危険箇所点検を兼ねた防災避難訓練ができた。（南区） ・4年ぶりに街区公園での防災訓練ができた。参加者は例年の半分くらいだったが開催ができるようになった。（宝塚） ・大規模な防災訓練ができなかった地域も、新しく配置した発電機の始動操作を行ったり、防災資機材の点検を行った（上区・下区） ・自主防災隊が防災訓練の呼びかけをし、避難誘導、情報伝達、などの訓練が例年通りできた。（りんどうヶ丘） ・災害時にあわてないために気象予報士の防災講話を行った。（中区） ・4年ぶりに地震体験車での震度7の体験をして備えの必要を感じた。（大淀台） 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目	評価		特記事項	評価項目	評価		特記事項		
	本年度	前年度			本年度	前年度			
① 地域二 ーズの 把握	A	A		⑤ 事業の周 知	B	B			
	② 住民の 参加	A	B		⑥ 課題解決 への作用	B	B	幼児や児童は保護者と参加するが、中学生の参加がほとんどない。	
③ 地域まち づくり推進 委員会の取 組としての 妥当性		A	A	⑦ 住民の満 足度		B	B	自治会に加入している方の参加がほとんどである。	
	④ 各種団体 との連携	A	B		事業継続の必要性		○有・無		
良かった点・ 改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 地震が起きたことを想定した防災訓練を行った。指定避難所まで歩いて行ったり、自主避難所まで車椅子体験をしたり、各地域で工夫した防災訓練が行えた。</p>								
地域協議会からの 意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和2年4月・事業実績報告）>自治会が主催する防災訓練に、経費一部負担と関係機関との連絡調整を行うことで、円滑な訓練実施に取り組んでいる。しかし、参加者数の低迷や子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題もあり、地域の防災を担う防災部会として、自治会とともに訓練内容の検討や課題の解決を図ってもらいたい。<意見への対応>今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、一般の参加（学校等含む）は募らなかった。</p>							対応	○未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和3年4月・事業計画）>防災部会と自治会が密に連携して取り組んでいただきたい。また、学校との連携も図り、子ども達の参加を増やしていただきたい。<意見への対応>防災部会と自治会の連携は取れているが、学校との連携が難しい。</p>							対応	○未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため防災訓練は開催できず、防災倉庫の点検を実施しましたが、来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容の検討と参加者の低迷、子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題解決を図っていただきたい。<意見への対応>防災訓練はできなかったが、各自治会で、防災倉庫の点検と資機材のチェックをした。</p>							対応	○未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）>防災部会と自治会が密に連携して取り組んでいただきたい。また、学校との連携も図り、子ども達の参加を増やしていただきたい。<意見への対応>一部は子ども会に呼びかけ実施したが、ほとんどの地区で子どもの参加は少数だった。</p>							対応	○未・済
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業次席報告）>本年度は、防災訓練を防災倉庫の点検や防災研修とした地区やコロナ前どおり住民参加の防災訓練を実施した地区と、自治会の判断により訓練内容が様々でしたが、来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容の検討や参加者の低迷、子ども達や子育て世代の参加が少ない等の課題の解決を図っていただきたい。<意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	防災力の向上事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎防災士を増やすことで安全安心なまちづくりを目指す。														
目的 (期待される効果)	緊急災害時、行政組織の支援があるまでの間、地域のことを地域で守ることができるようにするために、地域の防災リーダーを育成する。														
事業内容・手段	(1) 大塚地域自主防災連合会総会・地域防災研修会 実施日 令和5年6月25日 内容 「平成17年台風14号の体験をふまえて」防災士ネットワーク伊藤照夫氏 会場 大塚公民館 (2) 『みんなの防災』発行 実施日 ①令和5年7月中旬 ②令和6年3月下旬 大塚地域8自治会、小・中学校PTAへ配布 (3) 大塚地域自主防情報伝達訓練 実施日 令和5年9月3日 (4) 防災研修：みやざきシェイクアウト 実施日 令和5年12月21日（防災部会と同日） 会場 大塚地域事務所 (5) その他 防災に関する研修に参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防災士スキルアップ研修会 ・ 男女共同参画センター主催の防災オンライン講座 														
事業費	59,727円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>80人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>95人</td> <td>26人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	80人	6人	スタッフ	15人	20人	合計	95人	26人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	80人	6人													
スタッフ	15人	20人													
合計	95人	26人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大塚地域自主防災連合会総会で地域防災研修会を開催した。身近な話を聞くため小松もりした自治会長でもある伊藤氏に講話をしていただいた。 ・ 自主防災・それぞれが研修先を選定し、できるだけスキルアップのため、研修や講習、見学、勉強会に参加した。 ・ 防災研修の内容を『みんなの防災』で配布した。 ・ 防災訓練、防災講話を『みんなの防災』で知らせた。 『みんなの防災』をFacebookにも載せた。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	A	B	全戸配布し、Facebookにも載せた。ペーパーレスに向けSNSの活用も検討し広報をしていきたい。
	②住民の参加	C	C			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	B	C
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修班が、研修に参加した。 ・防災広報紙の発行もできた。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和2年4月・事業計画）地域防災の向上には、リーダーの存在は重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題である。今後とも、自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでもらいたい。</p> <p><意見への対応>防災士やSVCの資格を有する地域住民は増えてはきているが事業や地域活動に参加していただける人材の発掘が課題である。</p>						対策	未・済
		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）本年度は、計画通りに事業を実施されましたが、地域防災の向上には、リーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は、自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対策	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	防災充実事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 2. 安全安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉) ◎避難所に備品等を設置し、より安全安心な街をつくる。														
目的 (期待される効果)	災害発生時における地域住民の自助・共助がスムーズにおこなえられるように、地域で必要な防災に関する防災機器等を把握し、本年度は避難所運営に必要な資機材の整備を行う。														
事業内容・手段	(1) 避難者運営に関わる資機材の整備 実施日 1年間 内容 大塚地域内の指定避難所並びに一時避難所(自主避難所)となる自治公民館や集会所に資機材を整備した。 ○ ヤマハインバーター発電機、専用カバー ○ 発電機用エンジンオイルと容器 ○ 発電機用コードリール 30m ○ ソーラー式投光器 ○ ジョイントマット														
事業費	599,360円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20人</td> <td>20人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	—	—	スタッフ	20人	20人	合計	20人	20人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	20人	20人													
合計	20人	20人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> 先年度に続き、指定避難所や、自主避難所で使用する発電器を購入した。あわせて、発電器用のコードリールも購入した。 災害対応積立基金で購入していた、ジョイントマットなどを防災充実事業で購入していき、指定避難所、自主避難所の資機材の備蓄が行えている。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	B	B	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応積立基金が終了したが、防災充実事業で指定避難所と自主避難所の資機材の購入を続けたい。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>災害時に住民の自助・共助が円滑に行えるように、来年度も、地域に必要な防災機器・用品を把握し、整備していただきたい。</p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔2〕地域福祉に係る事業

事業名	生活支援事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり）</p> <p>◎地域の人々とふれあいと交流を深めることが絆づくり人材育成を進めていくことができる。</p> <p>2. 安心安全な大塚の街をつくります（防災・福祉）</p> <p>◎多様な困りごとの解決を図ることが、安心安全な大塚の街につながる。</p>														
目的 (期待される効果)	地域包括ケアに基づいた新しい取り組みを模索し、地域の実情に合ったイベントや講座、取組ができることを目指す。														
事業内容・手段	<p>(1) チーム大塚との会議</p> <p>内 容 地域の実情に合った介護や生活支援が一体的に提供される体制(地域包括ケアシステム)を展開するため、チーム大塚(第2層協議体)など地域を支えていく専門家との話し合いの場に参加。</p> <p>会議開催 7月25日 11月14日 1月16日 2月20日 3月12日</p> <p>会 場 大塚地域事務所 会議室</p> <p>参加者 チーム大塚 ※福祉部会からは正副部会長3名と事務局が参加</p>														
事業費	12,790円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>75人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>20人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>95人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	75人	—	スタッフ	20人	—	合 計	95人	—
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	75人	—													
スタッフ	20人	—													
合 計	95人	—													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の有識者が集う会議なので住民の声やアンケート等は未実施。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	—	これからアンケートを作成・配布し、ニーズを集約していく。	広報	⑤事業の周知	B	—	チラシや申込書等を現在作成中。
	②住民の参加	B	—	これから参加を募っていく。			事業の効果	⑥課題解決への作用	C
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—	正副部会長3名が全ての会議に参加した。		⑦住民の満足度			C
	④各種団体との連携	A	—	福祉部会の代表として発言、提案、協議した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム大塚内で他団体と協議することで、ボランティアの基礎となる部分が見えてきた。まだしばらく時間がかかりそうだが、他団体の意見と部会の意見を持ち寄り、地域住民にとって有益なボランティア団体が構築できるよう協議を重ねることができた。 							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年2月・事業計画）>昨年度実施した「みんなの居場所 中区の会」が好評で、所期の目的は達成した。「中区の会」の問題点、改善点を検証し、本年度開催予定地区に活かしていただき、更に一人でも多くの引きこもりがちな住民の方々の居場所を作っていたきたい。</p> <p><意見への対応> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度実施した「みんなの居場所 中区の会」が好評で、所期の目的は達成しました。「中区の会」の問題点、改善点を検証し、来年度開催予定地区に活かしていただきたい。更に一人でも多くの引きこもりがちな住民の方々に居場所を作っていたきたい。</p> <p><意見への対応>新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）>大塚地域は、生活支援分野の取組が十分ではないので、まちづくり推進委員会も一員である「チーム大塚」で協議を重ね、是非、地域ぐるみで支え合う事業を展開してほしい。</p> <p><意見への対応>チーム大塚会議にて、高齢者等の身近な生活を支援するボランティア組織の必要性を協議している。そのため大塚・江南地域の実情やニーズを把握するためにアンケート調査を令和6年度初めから配布する予定。並行してボランティアを募るチラシや申込書を会議内で精査している。地域で支え合える事業を展開していきたい。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>チーム大塚の会議の中で、市や地域包括支援センターと一緒に、「住み慣れた大塚・江南地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、困っている人を地域ぐるみで支える仕組みづくり」を進めているので来年度も引き続き協議を重ね、出来るだけ早い時期に、大塚地域の生活支援分野の事業を確立してほしい。</p> <p><意見への対応></p>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会から出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	スマイル大塚事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎地域での支え合いや異世代交流を深め、顔の見える関係づくりに努めることで絆づくりができる。 ◎大塚の伝統文化の継承を進め、安心して生き生きと暮らせる住み良いまちづくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所づくりを行い、地域住民同士の交流を増やす。そして、安心して住んでいたいと思えるまち、笑顔いっぱいの町を目指す。														
事業内容・手段	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> (1) ふれあいサロン事業 (旧) ① 上区スマイル大塚事業 実施日 令和5年8月6日 内 容 夏休み書道教室 会 場 上区自治公民館 ② 南区スマイル大塚事業 実施日 令和5年12月10日 内 容 もちつき、ミニゲーム 会 場 南区ちびっこ広場 ③ 中区スマイル大塚事業 実施日 令和6年2月25日 内 容 防災訓練と共同開催 (豚汁) 会 場 中区自治公民館 </td> <td style="vertical-align: top;"> (2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和5年9月15日 内 容 ミニゲーム、折り紙等 会 場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 令和5年11月10日 内 容 おはじき、木のパズル、折り紙 会 場 宝塚公民館 </td> </tr> </table>			(1) ふれあいサロン事業 (旧) ① 上区スマイル大塚事業 実施日 令和5年8月6日 内 容 夏休み書道教室 会 場 上区自治公民館 ② 南区スマイル大塚事業 実施日 令和5年12月10日 内 容 もちつき、ミニゲーム 会 場 南区ちびっこ広場 ③ 中区スマイル大塚事業 実施日 令和6年2月25日 内 容 防災訓練と共同開催 (豚汁) 会 場 中区自治公民館	(2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和5年9月15日 内 容 ミニゲーム、折り紙等 会 場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 令和5年11月10日 内 容 おはじき、木のパズル、折り紙 会 場 宝塚公民館										
(1) ふれあいサロン事業 (旧) ① 上区スマイル大塚事業 実施日 令和5年8月6日 内 容 夏休み書道教室 会 場 上区自治公民館 ② 南区スマイル大塚事業 実施日 令和5年12月10日 内 容 もちつき、ミニゲーム 会 場 南区ちびっこ広場 ③ 中区スマイル大塚事業 実施日 令和6年2月25日 内 容 防災訓練と共同開催 (豚汁) 会 場 中区自治公民館	(2) 居場所の会 ① みんなの居場所 中区の会 実施日 令和5年9月15日 内 容 ミニゲーム、折り紙等 会 場 中区自治公民館 ② みんなの居場所 宝塚の会 実施日 令和5年11月10日 内 容 おはじき、木のパズル、折り紙 会 場 宝塚公民館														
事業費	53,113円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>314人</td> <td>150人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>75人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>389人</td> <td>173人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	314人	150人	スタッフ	75人	23人	合 計	389人	173人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	314人	150人													
スタッフ	75人	23人													
合 計	389人	173人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題をやってお菓子をもらえるとは思ってなかった。とても嬉しかった (上区) ・次も体操講師が新濱先生だったら参加したい。(中区) ・カロム (おはじきタイプのボードゲーム) がとても面白かった。(中区) ・餅つきに多くの子供が参加し、大変楽しそうだった。(南区) ・ゲームに幼児と保護者が一緒に参加できて家族で楽しむことができた。(南区) ・楽しくて時間が足りなかった。(宝塚) ・体を動かすこと、積み木で頭を動かすこと、両方ともとても楽しかった。(宝塚) ・日頃、あまり話さない相手と楽しくおしゃべりができた。また参加したい。(宝塚) 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
まちづくり 住民主体のまち	① 地域ニーズの把握	A	A	参加者ニーズは高い	広報	⑤ 事業の周知	A	B	SNS やチラシ配布、個別でのお誘いにより参加者増
	② 住民の参加	A	A	コロナ禍に比べると多くなった		事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	もち米代や材料費の妥当性が問題	事業の必要性		⑦ 住民の満足度	A	B
	④ 各種団体との連携	A	A	各自治会と連携できた		有・ 無			
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 生活支援事業と統合し、コロナ後に地域住民が交流できる場を提供することができた。 コロナ禍期間に外出できなかった方々がこういった交流できる機会を待ち望んでいた様子。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）>本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事は中止となりましたが、引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作っていただき、3世代交流や地域住民同士の親睦を深め、地域の方々の豊富な知識や経験・技能を活用し、高齢者の方々の生きがいづくりも計ってほしい。</p> <p><意見への対応> コロナ禍により事業中止が相次いだり、地域住民はイベントを欲していることが分かった。より多くの高齢者に参加を促し、三世代交流が実現できるようにイベントづくりをしていきたい。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）> 生活支援事業の居場所づくりをふれあいサロン事業に加える形で一本化したことは、まちづくり会員の負担軽減にも繋がり、これからの持続可能なまちづくりを考えると大いに評価できる。引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、三世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。</p> <p><意見への対応> 地域の実情やニーズに合わせて、4地区、計5回実施した。高齢者向けのイベントが多いため、開催日時や内容を考慮し、年齢層を幅広くPRし参加希望者を増やしていきたい。</p>					対応	未・済	
		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、3世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>					対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	健康づくり事業	実施年数	7年目												
事業期間	開始：平成29年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり) ◎高齢化が進むなか、介護予防につながり参加者同士が交流することで絆づくりになる。														
目的 (期待される効果)	大塚地域に住む参加者の『健康促進、参加者間の交流を図り、これからも大塚地域に住み続けたいと思ってもらえるような働きかけをしていきたい。														
事業内容・手段	(1)「大塚健幸教室」講座 ～生活習慣改善のコツ～ 実施時期 令和5年12月14日 会場 大塚中区自治公民館 内容 当日参加者に血圧測定、塩分チェックシート、血液検査表の見方など、生活習慣の改善につながるような講座を開催。 講師 東保健師、山本保健師、武脇保健師 (宮崎市健康管理部 地域保健課 江南地域ケア係 大塚地区担当) ※宮崎市政出前講座														
事業費	17,525円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>19人</td> <td>39人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>23人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>30人</td> <td>62人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	19人	39人	スタッフ	11人	23人	合計	30人	62人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	19人	39人													
スタッフ	11人	23人													
合計	30人	62人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・とても充実した内容で良かったです。もっと多くの人に受けてほしい内容ですね。 ・会場で保健師による血圧測定ができて良かった。 ・食事の摂り方など楽しくお話を聴きました。 ・大塚の住民は健康に関する意識が高めだなと思いました。 ・とても良かったので、次回があれば知人に勧めたいと思いました。 ・グラフ表示、クイズ形式、楽しい講座でした。 ・わかりやすい話で良かったです。しかしながらスライドの図や表の文字が若干小さくて見づらかったのが残念です。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	同じ内容の講座を希望されている方が多かった。	広報	⑤事業の周知	A	A	クチコミで広がった。地域の民生委員も広報活動に協力いただいた。
	②住民の参加	A	A	広報開始後、近隣住民に個別に声掛けし参加者が増えた。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A	事前に講師と細かな打合せができ、開催時もスムーズに行うことができた。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 講師含め三人の保健師が直接血圧測定してくれたことで、高齢の参加者の多くから感謝等の言葉をいただいた。塩分を控える食生活、適度な運動など大塚地域住民にとって有意義な講座だったと思われる。 他部会や他団体で同じような内容の講座が開催されており、こういったないようなら共同開催ができると感じた。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>今年度は、生活習慣病についての講座を実施されました。普段の生活や食生活を見直すきっかけになったと大変好評でしたので、来年度も事業内容を吟味し、住民の健康促進を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	男女共同参画社会づくり事業	実施年数	15年目												
事業期間	開始：平成21年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり、絆づくり) ◎男女共同参画社会づくりのための人材育成を進め、女性の力を活用する。</p> <p>2. 安全安心な大塚の街をつくります。 ◎女性の力をもっと活用し、女性の視点で安全安心な大塚の街をつくります。</p>														
目的 (期待される効果)	大塚地域に住む若い夫婦が、大塚に住んでいて良かったと思えるような講座を開催し、積極的な育児参加、性教育の大事さを伝えていく。														
事業内容・手段	<p>(1)「とにかく明るい性のおはなし」講座 ～家庭でできる性教育～ 実施時期 令和5年11月25日 会場 大塚中区自治公民館 内容 大塚地区の一般住民向けに、親子で自然に性について話すきっかけを作ることができるようなポイントを専門家と一緒に考える講座。 講師 原田いくみ氏 (宮崎県男女共同参画センター講師派遣事業) (任意団体ハウリング代表)</p>														
事業費	41,425円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>16人 (うち男性3人)</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>11人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27人</td> <td>34人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	16人 (うち男性3人)	19人	スタッフ	11人	15人	合計	27人	34人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	16人 (うち男性3人)	19人													
スタッフ	11人	15人													
合計	27人	34人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・「できれば避けて通りたい、聞かれたくない、回答に困るなあ～」と自分自身が思っていた『性教育』。親だと伝えにくいけど、こういう第三者からだと思わりました。「恥ずかしくないこと」←これが一番刺さったキーワードでした。 ・息子はASD (自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害) と ADHD (注意欠陥多動性障害) の9歳の小学3年生です。少しずつ絵本などでプライベートゾーンの話をしているところでした。今後も大人が恥ずかしがらずに伝えられるよう、自分自身が勉強していきたいです。 ・子どもが性の質問をしてきたら「お！そうか！そういった話をするようになったか！」と話を逸らすことなく、答えにくい質問に対しては「いま調べるからちょっと待ってね」とインターネットでその子の年代に合わせた答えを探すのもアリですね。 ・水着で隠れるプライベートゾーンの話子どもにも話していますが、“財布のように大事な物なので隠す”という表現は分かりやすかった。小学生以下の児童には伝えていきたいと思った。とても勉強になる話でした。 ・途中で休憩があったのが良かった。講座再開前に体操を入れてくれたので先生の話が聞きやすくなった。今回のように駐車場があって託児してもらえると参加しやすいです。助かりました。机があるとメモを取りやすいです。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	今回 SNS を使った広報により若い年代の方にも講座の紹介をすることができて良かった。
	②住民の参加	B	A	募集定員に達しなかった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	初めて性に関する講座を行うことができた。	⑦住民の満足度	A			A
	④各種団体との連携	A	A	県男女共同参画センターから延岡在住の講師をご紹介いただいた。		事業継続の必要性		有・無	
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 今回初めて性に関する講座を開催し、参加者のほとんどが好印象だったので今後も類似講座を開催したい。託児スペースも高評価であり地域の方が望まれていると感じた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>本年度は、若い親御さん向けに「我が子に、性について話ができる機会を作ろう」と性教育の講座を開催されました。参加者は子連れ可とし、親御さんがゆっくり聞いて良かったと喜ばれていました。講座の内容も好評だったので、来年度も継続を含めて、事業内容を検討していただきたい。 <意見への対応></p>					対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎認知症に理解ある人づくりを行ないながら、地域の絆を深めます。</p> <p>2. 安心・安全な街をつくります（防災・福祉） ◎子どもと一緒に、認知症の人を見守るやさしいまちづくりを目指します。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>高齢化が進む中、住み慣れた街でいつまでもいきいきと暮らしていく為に、たとえ認知症になってもステッカーを目にすることでご本人や家族が「地域でやさしく見守られている」という安心感を得られる。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) ステッカーの存在を住民へ広報する。 企画 福祉部会（チーム大塚から移行） 内容 ステッカー周知のためのチラシ作成及び掲示。 広報 小学校で行う認知症サポーター養成講座内で広報。 ステッカー配布 大塚地区地域包括支援センターを通じ、認知症に理解ある事業所、個人宅等に了承を得て表示してもらう。 ステッカー配布期間 令和5年8月～令和6年3月</p> <p>(2) 認知症サポーター養成講座でのステッカー広報 講師 田中由賀氏（大塚地区地域包括支援センター管理者） 対象 大塚小学校5年生 会場 大塚小学校体育館</p>														
事業費	18,569円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>123人</td> <td>270人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>15人</td> <td>17人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>138人</td> <td>297人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	123人	270人	スタッフ	15人	17人	合計	138人	297人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	123人	270人													
スタッフ	15人	17人													
合計	138人	297人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・地域内で、もっとステッカーを見ることができるよう、たくさんの場所に掲示してあると良いと思う。 ・我が家にも掲示したい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	今後は、ステッカーを掲示したことの影響等を調査し、ニーズの把握に努めたい。	広報	⑤事業の周知	B	B	地域内の事業所や個人宅などへ直接掲示を依頼・交換することで、周知と啓発につながった。
	②住民の参加	B	B	小学校での認知症サポーター養成講座が継続できた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	B
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	今後も地域内の周知がよりきめ細やかに行うことができるよう努めたい。	事業の効果	⑦住民の満足度			B
	④各種団体との連携	A	A	第2層協議体でチラシ案を協議する際に情報を発信し連携を強化できた。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚小学校5年生向けに行われた認知症サポーター養成講座実施時にステッカーを見せ、関心を持ってもらえた。 							
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和5年4月・事業実績報告）>本年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応>各地域の事業の周知徹底に至らなかった。部会員から地域住民に向けてステッカー掲示の協力依頼をしていきたい</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和5年8月・事業計画）>ステッカーを表示していただく事業所、個人宅が少しでも増えるように、引き続き、事業に対する住民への理解を深め、ステッカーの周知徹底を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応>小学校等へ普及活動したが、大塚・江南地域全体へ広く周知活動とは言えない。次年度は部会員の認知症に対する理解を深めるための研修等を行い、認知症の周知する必要性を高めていきたい。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）>来年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔3〕環境に係る事業

事業名	水流川クリーンアップ事業		実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり、絆づくり) ◎行事への参加を地域住民に声かけし住民同士の交流を図る。 2. 安全安心な大塚の街をつくります(防災・福祉) ◎川に親しみ様々な体験を通して水の危険性を体感したり、災害時に使う一人用トイレを体験したりして、防災意識を高めることができる。															
目的(期待される効果)	・水流川に親しむ活動やごみ拾い活動を通して住民との交流を図る。 ・水流川の環境を学んだり、水質浄化液「えひめA1」の学習をしたりすることにより、地域の環境についての意識向上を図ることができる。															
事業内容・手段	(1) 水流川周辺の清掃、環境調査 実施時期 令和5年6月24日、8月25日、9月4日、11月13日 令和6年1月13日、3月9日 内 容 川の中や周辺の道路の清掃 ごみの重さや種類を記録、水質検査、水生生物や環境等の調査 (2) 江南小学校の環境学習サポート 実施時期 令和5年10月17日、11月8日 内 容 [10月] 大淀川からの通水口の見学、水生生物や植物の観察 プラスチックごみに関する手作りの紙芝居を披露 [11月] 昔の水流川の話、国交省による工事の話、水質検査指導 会 場 水流川、江南小学校 (3) 水流川周辺の草刈り 実施時期 令和5年6月24日、8月25日、7月18日、10月1日 10月22日、10月23日 (4) 子ども生き物調査 実施時期 令和5年7月9日、10月14日 (5) 魚のつかみ取り in 水流川 実施時期 令和5年8月26日 会 場 水流川 (6) みやざき「川」づくり交流会(宮崎河川国道事務所主催) 実施時期 令和5年11月1日 内 容 活動報告 (7) 「身近な水辺のモニター調査報告会」(県土木事務所主催) 実施時期 令和6年2月8日 内 容 水流川の環境調査結果及び活動報告 (8) 九州「川」のワークショップ in 大隅 実施時期 令和5年11月25日～26日 内 容 ステージ発表、各団体の活動発表、アピールタイム、講演 会 場 鹿児島県鹿屋市リナシティかのや															
事業費	474,609円															
対象者	大塚町地域住民 江南小学校5年生															
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>455人</td> <td>313人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>175人</td> <td>344人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>630人</td> <td>657人</td> </tr> </tbody> </table>				年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	455人	313人	スタッフ	175人	344人	合 計	630人	657人
年 度	令和5年度	令和4年度														
一般参加者	455人	313人														
スタッフ	175人	344人														
合 計	630人	657人														
住民の声(アンケートの結果等)	【魚のつかみ取り】 ・魚のいきいきとした動きが体感できて良かった。 ・子どもが楽しめ、地域活性化とイベントの企画をしていただき感謝します。 ・ライフジャケットなど何かあった時のためなど着方も含めて学べた。 ・流れがあって本格的ですごく良かった。大人もキャーキャー楽しめました。 ・水流川にいる魚や鳥のことも学べて良かった。 ・草刈りボランティアが必要でしたら喜んで行きます。 【子ども生き物調査】 ・でっかいハゼがとれて嬉しかったので次回もぜひ参加させてください。 ・川をきれいにするボランティア活動がしたい。															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	部会員に自治会の役員をしている人が多く、地域のニーズを得やすい。	広報	⑤事業の周知	A	A	「歩こう会」でゴミ問題や環境部会の活動を報告できた。
	②住民の参加	A	A	モナコパレスなど地域の方の参加が少しずつ増えている。大塚公民館自主グループや保護者の協力が得られた。			事業の効果	⑥課題解決への作用	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	再生工事後の水流川を維持し地域住民に川の良さを感じてもらい、環境への意識を持たせるにはまちづくりの取組が必要である。	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	国土交通省宮崎河川国道事務所、宮崎土木事務所、江南小学校、大淀川流域ネットワーク、モナコパレス、 大塚公民館 と連携。			有・無		
良かった点・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度初めて「子ども生き物調査隊」を発足して実施できた。子どももスタッフも楽しく生き物調査ができた。しば漬けの中で生き物が多数発見できて、見ていた保護者も喜んでいた。 ・江南小学校の環境学習では、県土木や宮崎河川国道事務所の協力がとてもありがたかったし専門的な話もしてもらえた。子ども達にしば漬け引き上げを体験させることができた。 ・九州「川」のワークショップに参加して多くの学びがあった。視野が広がった。 ・イベント後、草刈りを申し出てくださる方があり、非常に嬉しく助かった。 ・「歩こう会」イベントで、ゴミ問題の紙芝居を披露したり、環境部会としての活動を報告したりできた。 ・大塚公民館自主グループの協力により、川での活動を知ってもらうことができた。 ・大塚小校区の児童が部会の日頃の活動にもっと参加して、色々な体験をできるように検討していきたい。子ども会が機能していない地区もあるので検討していきたい。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実施報告）></p> <p>来年度も引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。特に「江南小学校の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっているので、モデル事業として大塚地域外にも積極的に広報し、多くの人たちに知っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会から出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	ダンボールコンポスト事業	実施年数	12年目 (H26.H30 休止)												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます (人づくり・絆づくり) ◎ ごみ減量やたい肥の使い方を学んだり話し合ったりする中で、住民同士の交流を図り、宮崎市のごみ減量への意識向上を図る。														
目的 (期待される効果)	家庭で出るごみをダンボールコンポストで処理することにより生ごみの減量化を図り、環境について考える機会を提供する。														
事業内容・手段	(1)ダンボールコンポスト講習会 ①ダンボールコンポストの使い方と環境を学んだ。 実施時期 1回目:令和5年6月10日 会場 大塚地域事務所 ②コンポストのでき具合を学んだ。 水質浄化液「えひめ AI-2」の作り方を講習した。 実施時期 2回目:令和5年9月30日 会場 大塚地域事務所 (3)大塚公民館ダンボールコンポスト講座「まなぶど」 実施時期 1回目:令和5年6月21日 2回目:令和5年9月20日 会場 大塚公民館 講師 NPO 宮崎ダンボールコンポスト県央支部 高橋保雄氏														
事業費	117,997円														
対象者	大塚地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>35人</td> <td>52人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>22人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>57人</td> <td>81人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	35人	52人	スタッフ	22人	29人	合計	57人	81人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	35人	52人													
スタッフ	22人	29人													
合計	57人	81人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に良いことをしているという達成感がある。虫の駆虫方法を理解できた。 ・不安一杯のスタートでした。フォロー講座で改めてもう一度やってみる気になりました。 ・少しずつ楽しみになってきました。もっと色々な生ごみを入れようと思います。 ・ダンボールコンポストに興味を持っている人のためにPRしてほしい。 ・できたたい肥の活用方法として、大塚公民館の花壇も活用したい。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	A	リピーターが友人を紹介するなどしてダンボールコンポストの良さを理解し広がっている。	広報	⑤事業の周知	B	B	口コミで広がっている面がある。
	②住民の参加	B	A	大塚公民館を連携したので地域外の方の参加もあった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	講座を実施することで安価で材料が手に入るため継続できているリピーターが多い。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A	NPO宮崎ダンボールコンポストネットワーク県央支部、大塚公民館と連携した。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大塚公民館講座と連携して実施できたので、地域外の方にもコンポストの良さを知ってもらえた。 ・水質浄化液の良さを伝えてきたがなかなか普及が難しい。参加者のアンケート結果を活かして、目に見える形で、良さをアピールできるように検討していきたい。 ・庭がない人達へ、コンポストでできたたい肥の活用方法を検討していきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、確実に、生ごみの減量化が図られていますので、来年度も引き続き、環境についての意識が更に向上するよう推進していただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会から出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	ペットマナー向上事業	実施年数	9年目
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし	
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎ペットマナーの学習をし、飼い主同士の交流をすることが絆づくりにつながり、住み良いまちづくりにつながっていく。 2. 安全安心な大塚の街をつくります（防災・福祉） ◎飼主と地域とのトラブルを未然に防ぎ、飼主の防災意識を高め、万が一の際に周囲の理解を得られるようにしておく。		
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・人社会と犬社会の安全な橋渡しとなるような愛犬家の集いとする。 ・飼育者間の相互理解を図り、命への責任意識を高める。 ・飼い主のペットマナーの啓発及び広報等をする。 ・飼犬の社会化を促し、安心して安全な飼犬の育成に助力する。 		
事業内容・手段	(1) 飼主と飼犬の交流会(ドッグラン) 実施日 令和5年 4月2日、5月7日(雨天中止)、6月4日、8月6日、10月1日、11月5日、12月3日 令和6年 2月4日(雨天中止)、3月3日 会 場 鎌ヶ迫池ゲートボール場 (2) ペットマナーの広報 実施時期 令和5年4月～令和6年3月 内 容 マナーポスターを作成し、まちづくり掲示板や地域に掲示した。 Facebook でマナー情報を発信した。 (3) 広報用グッズ作成・配布 実施時期 令和5年3月 内 容 ペットマナーを促し、地域をきれいにする意識を持ってもらうためにマグネットを作成して配布した。		
事業費	70,297円		
対象者	大塚地域住民及び隣接地域住民		
参加者数 (内訳)	年 度	令和5年度	令和4年度
	一般参加者	80人(犬53匹) (大人67人、小人6人)	74人(犬60匹) (大人63人、小人11人)
	スタッフ	9人	20人
	合 計	89人	94人
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ぜひとも来年度以降も継続してほしい。 ・今の「気軽な相談窓口」みたいな雰囲気が良い。 ・参加者間でいろいろと相談できるのでいいと思う。 ・せっかくなので、もっと広く知られるとよいと思う。 ・お盆や正月の時期に、一時的に糞の放置が多くなり迷惑している。 ・もっと回数が多くても良いのではないかな。 		

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年				本年度	前年	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	開催数を増やして欲しいとの依頼があるが、開催を維持するので十分だと考えている。	広報	⑤事業の周知	A	A	主催者を明確にするために会場前に立て看板を立ててPRした。マチコミメールに登録してもらい定期的に連絡ができた。lineグループ化も試行している。
	②住民の参加	A	A	中心で担っていた方の引越にに伴い中止もやむなきと考えられたが、参加者の運営により来年度も継続が決定した。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域内で気軽に参加できるドッグランはニーズが多い。環境面でも対策を検討していきたい。	事業の効果	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	C	A	定期的か数年おきでしつけ教室などを開くのを検討したい。			事業継続の必要性		有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末にペットマナーや環境を守るマグネットシートを配布した。効果の様子を今後見守りたい。 担当者が市外に転居することをきっかけに、ドッグラン参加者にアンケートを取ったり数回話し合ったりして自主的に運営ができる方向でまとまった。今後活動を見守っていきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>来年度も引き続き、ペット飼育者のマナー向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>						対応 未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔4〕 伝統文化に係る事業

事業名	大塚音頭普及促進事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成25年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり）</p> <p>◎地域住民に踊りを指導したり披露したりすることで大塚音頭を普及し、みんなで踊ることが住民同士の絆づくりにつながる。また若い世代の人づくりにもつながっていく。</p>														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・大塚音頭を大塚地域の文化財として永年にわたり歌い継ぎ、踊り継ぐことにより大塚地域のさらなる活性化を図る。 ・子ども達にふるさとを思い出させる曲となるように、大塚のシンボル曲とし、住民に普及促進する。 														
事業内容・手段	<p>(1) 江南小学校PTA 踊り指導 令和5年5月11日</p> <p>(2) 大塚小学校3年生 踊り指導 令和5年9月8日</p> <p>(3) 大塚音頭保存会総会 令和5年9月11日</p> <p>(4) 大塚町体育祭でプログラムとして、参加者と踊った。 令和5年10月15日</p> <p>(5) 他のまちづくり事業内や各地区の祭りで、参加者に踊ってもらった。</p>														
事業費	21,197円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>714人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>87人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>801人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	714人	—	スタッフ	87人	21人	合 計	801人	21人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	714人	—													
スタッフ	87人	21人													
合 計	801人	21人													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でここ数年、指導をお願いすることを控えていたため、子どもたちや教師は、音頭のことを知らなかったのが指導してもらえて良かった。 ・覚えやすいので、踊れてよかった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤事業の周知	A	A	
	②住民の参加	A	C			事業の効果	⑥課題解決への作用	A	B
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> コロナ禍で実施ができない状態が続いていたが、様々な場所で踊ってもらえた。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 本年度は、地域や学校から指導要請があり、指導の機会が増えつつありますので、来年度はさらに地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただくよう積極的に広報し、大塚音頭の普及を図っていただきたい。また、スポーツ・レクリエーション部会と大塚音頭保存会の密なる連携を図りながら、事業を展開してほしい。 <意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

〔5〕健康に係る事業

事業名	健康増進事業	実施年数	6年目												
事業期間	開始：平成30年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり） ◎地域住民が集うことで「話・和・輪」が生まれ住みよいまちづくりに繋がる。														
目的 (期待される効果)	体を動かす機会が減っている中、少しでも個人がリフレッシュできる内容について検討し、企画したイベントを通して、健康増進に繋げるとともに、地域の交流を図ることを目的とする。														
事業内容・手段	(1) ニュースポーツ 実施時期 令和5年7月2日 会場 大塚公民館 大集会室 (2) ストレッチ体操 実施時期 令和5年9月3日 会場 大塚公民館 大集会室 (3) 街中オリエンテーリング 実施時期 令和5年10月1日～20日 会場 大塚地域内														
事業費	41,302円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>68人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>45人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>113人</td> <td>61人</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	68人	33人	スタッフ	45人	28人	合計	113人	61人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	68人	33人													
スタッフ	45人	28人													
合計	113人	61人													
住民の声（アンケートの結果等）	(1) ニュースポーツ それぞれの個性、年齢などに合わせた運動で楽しかった。様々な年代の人たちともスポーツを通して交流したい。みんなが楽しめるスポーツだと感じた。 (2) ストレッチ体操 とても楽しく汗を流すことができた。普段あまり使わない筋肉を使ったので、楽しかった。指導がすばらしかった。 (3) 街中オリエンテーリング ちょうどよい散歩ができた。まちの構成が分かった。ウォーキングしながら防犯活動、見守り活動にもつながると思った。家族で参加できてうれしかった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	B	
	②住民の参加	B	B			事業の効果	⑥課題解決への作用	B	A
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A				⑦住民の満足度	A	A
	④各種団体との連携	B	B	他部会への参加アピールをしてもいいのでは。	事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 新しい企画に住民からの高い評価が得られた。広報、PRについて検討が必要。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 街中オリエンテーリングは、開催期間内に自由な時間で参加できるという気軽さが好評で、参加者も多く、事業目的は十分達成されましたが、ニュースポーツ体験とストレッチ体操は参加者が少なかったため、広報を工夫し、参加者の確保に努めていただきたい。 <意見への対応></p>					対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔6〕教育に係る事業

業名	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます（人づくり・絆づくり）</p> <p>◎日本文化（昔の遊び）を通じて異世代交流を深めることができる。</p> <p>◎勝敗にこだわらないレクリエーション性の高いスポーツで異世代交流を深めることができる。</p>														
目的 (期待される効果)	<p>地域の方と子ども達や保護者の三世代が昔の遊びを通じて交流の場を設け、日本の伝統的な遊びの中で創造性を養うとともに、文化や昔の遊びにふれる学び・楽しむことを目的とする。また、勝敗にこだわらずレクリエーションの一環として気軽に楽しむことを主眼としたニュースポーツを紹介し体験してもらう。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 大塚小祭り</p> <p>実施時期 令和5年11月5日</p> <p>会場 大塚小学校運動場</p> <p>内容 ニュースポーツの体験・昔の遊び体験</p> <p>(2) 江南小フェスタ2023</p> <p>実施時期 令和5年11月12日</p> <p>会場 江南小学校校舎・教室・体育館</p> <p>内容 ニュースポーツの体験・昔の遊び体験</p>														
事業費	6,431円														
対象者	地域住民・地域の子ども														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>2,552人</td> <td>1,478人</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>80人</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,632人</td> <td>1,592人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	2,552人	1,478人	スタッフ	80人	114人	合計	2,632人	1,592人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	2,552人	1,478人													
スタッフ	80人	114人													
合計	2,632人	1,592人													
住民の声（アンケートの結果等）	<ul style="list-style-type: none"> ・昔遊びを楽しく体験させてもらいました。 ・竹とんぼが珍しかった。初めてやった。 ・ラダーゲッターを初めて知りました。 ・難しかったけど、やり方を工夫して楽しかった。 ・いろいろな竹とんぼを飛ばせて楽しかった。 ・初めて耳にするスポーツの名前ばかりだったが、いい経験になった。 ・あやとりやお手玉など、教えてもらってできるようになったと喜んでいた。 ・昔の遊びに触れる機会がないので、いい経験になった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	A		広報	⑤ 事業の周知	A	A	
	② 住民の参加	A	A			事業の効果	⑥ 課題解決への作用	A	A
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組と	A	A				⑦ 住民の満足度	A	A
	④ 各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性		<div style="text-align: center;"> 有 無 </div>		
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久しぶりに開催された祭りで、児童たちも楽しんでいる様子だった。 ・PTA、まちづくりと協力、分担して実施できた。 ・場所の確保が要検討。 ・時間の関係で、全部回れなかったという声もあったので、競技の台数、箇所を増やすなど、PTAの運営の方たちと検討していきたい。 							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）></p> <p>本年度は、大塚小祭り、江南小フェスタに、竹とんぼの達人と折り紙の達人を招き、竹とんぼや折り紙、あやとり、お手玉などの昔の遊びを体験しました。また、ニュースポーツではラダーゲッターにチャレンジし、参加した子ども達は、楽しそうに、真剣に取り組んでいました。今回も、大塚小・江南小ともにPTAと一体となった運営がなされ、事業の目的は、十分達成されましたので、来年度も、PTAとの連携を密にし、一層の事業の充実を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>					対応		未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	江南小学校地区体育祭共催事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり) ◎地域住民が集まる体育祭を行うことで交流ができ、そのことが住み良いまちづくりにつながる。														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図る。 ・子ども達が心身ともに健全に成長できる環境づくりを行う。 ・地域の子どもの「ふるさと(郷土愛)」づくりを行う。 														
事業内容・手段	(1) 用具の購入をした。 (2) 中止のお知らせを出した。 <インフルエンザ感染拡大防止のためイベント中止>														
事業費	62,200円														
対象者	江南小学校校区内住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	—	—	スタッフ	—	—	合計	—	—
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	—	—													
合計	—	—													
住民の声(アンケートの結果等)	—														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	—	—		広報	⑤事業の周知	—	—	
	②住民の参加	—	—			事業の効果	⑥課題解決への作用	—	—
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	—	—				⑦住民の満足度	—	—
	④各種団体との連携	—	—		事業継続の必要性				有 無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> —							
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和3年2月・事業計画）> 校区内の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図り、子ども達の「ふるさとづくり」となるようお願いしたい。 <意見への対応>競技内容を検討し、世代間交流ができる協議を追加する。						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和3年4月・事業実績報告）> 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業中止となったが、引き続き、自治会と江南小 PTA が連携し、住民同士の親睦や三世交流が深められ、さらに、若い世代が参加できるように改善や工夫をして、なお一層のきずなづくりをお願いしたい。 <意見への対応>競技内容を検討し、世代間交流ができる協議を追加する。						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和4年2月・事業計画）> 校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図り、子ども達の「ふるさとづくり」となるようお願いしたい。 <意見への対応> 開催できる内容を検討する。						対応	未・済
		<地域協議会からの意見（令和5年2月・事業計画）> 校区内住民の三世代交流と親睦を深め、地域の連携と活性化を図り、子ども達の「ふるさとづくり」となるようお願いしたい。 <意見への対応> 地域住民の親ぼく、連携を図り、子供たちのふるさとづくりとなる場とする。						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会が出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄に記載する必要はありません。

事業名	大塚町体育祭共催事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	基本目標 1. 塚人の育成と絆を結びます。 ◎本事業を継続していくことで、地域住民同士の親睦をより一層深めていく。														
目的 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 大塚4地区住民の親睦を深め、地域の連携と活性化を図り三世代交流の場を作る。 自治会未加入者の加入を促進する。 														
事業内容・手段	(1) 大塚町第53回体育祭 実施時期 令和5年10月29日 会場 大塚小学校運動場														
事業費	694,712円														
対象者	大塚町4地区の住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>502人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>30人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>532人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	502人	—	スタッフ	30人	—	合計	532人	—
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	502人	—													
スタッフ	30人	—													
合計	532人	—													
住民の声 (アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> 好天に恵まれ時間にせかされない進行でゆっくり楽しむことが出来た。 一般参加者が少なかった 皆さんと楽しく参加でき良いコミュニケーションの場となった。 自由でのびのびできた。自治会の方の協力があったありがたい。 久しぶりに町民たちと顔を合わせ、良かった。 知らない人と話をして、少し大塚のこと知れた。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	① 地域ニーズの把握	A	—		広報	⑤ 事業の周知	B	—	
	② 住民の参加	B	—			事業の効果	⑥ 課題解決への作用	B	—
効果的・効率的な取組み	③ 地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	—				⑦ 住民の満足度	A	—
	④ 各種団体との連携	A	—		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等> 広報活動をもっとする。地域の皆さんが楽しく参加でき、良いコミュニケーションの場となった。</p>								
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 晴天の下、3年ぶりに自治会、大塚地区体育会、スポーツ・レクリエーション部会、住民の方々が一体となった体育祭が開催され、久しぶりに、子どもか、楽しく体を動かし、異世代交流を深めました。ただ、まちづくりとの共催事業であることがあまり周知されていませんでしたので、まち推しのぼり旗を増やすなど、もっとPRしていただきたい。 <意見への対応></p>							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

〔7〕 その他の事業

事業名	祭り大塚共催事業	実施年数	3年目												
事業期間	開始：令和3年度	終了：	なし												
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり)</p> <p>◎大塚地域の目指すまちの姿(将来像)のキャッチフレーズが「次世代も笑顔あふれる幸せな街大塚」とあるように、地域の青年部が中心となった「祭り実行委員会」が活動することにより、地域在住の若者・学生・子育て世代の人々も加わり、将来を担う人材育成(塚人の育成)と絆づくりにつながる。</p>														
目的(期待される効果)	<p>多世代が参加する「祭り大塚」を開催することにより、多くの地域の人々がふれあい、若者が伝統文化を継承し、住みやすく魅力ある大塚になることで人材「塚人の育成」を図る。</p>														
事業内容・手段	<p>(1) 第3回祭り大塚に向けて実行委員会(スタッフ募集)</p> <p>(2) 祭り大塚会議 5/17、5/30、8/29、9/20、2/22</p> <p>(3) 第3回祭り大塚 実施</p> <p>実施日時 令和5年10月8日(日) 15時～20時</p> <p>場 所 宮崎太陽銀行駐車場</p> <p>内 容 各団体ダンス、太鼓演奏、自主クラブ発表ほか</p> <p>模 擬 店 自治会、PTA、スポーツ少年団からの出店 キッチンカー、大塚在住店舗による販売</p>														
事業費	1,419,345円														
対象者	地域住民														
参加者数(内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>3,000人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>66人</td> <td>140人</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,066人</td> <td>140人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	3,000人	—	スタッフ	66人	140人	合 計	3,066人	140人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	3,000人	—													
スタッフ	66人	140人													
合 計	3,066人	140人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の中の開催となったが、開始と同時に子供たちがテント内のテーブル席に集まり久しぶりの友達と盛り上がった。 ・雨天での開催については意見はあったが、概ね称賛の声が多かった。大塚の住民のパワーが感じられた。 ・当日発表ステージ8団体出店8店舗、キッチンカー2台。雨天により減ったが完売の出店が多く来客者は満足した。 ・大塚中出身の淵上アナウンサーと嫁恐竜の司会の息が合っていてとても良かった。大塚への地元愛が感じられた。 ・南区創作エイサー、大塚獅子会の獅子舞、響座の和太鼓演奏など地元グループのステージが良かった。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	B	雨天での開催になったが、よく開催したとの住民の声が多かった。	広報	⑤事業の周知	B	B	雨天での決行になり、送迎バスの連絡がうまく出来なかった。開催の連絡を含め、SNSの活用を図っていきたい。
	②住民の参加	A	—	開催と同時に、子供たちが集まり、再開を喜ぶ声が多かった。			事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	現在部会に所属しないが、4部会のいずれかに属した行事として実施した	事業の必要性	⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	B	自治会の協力で、資金、人員の面で効果を発揮できた、駐車場を提供は銀行の職員の協力で会場設営がスムーズにできた。			有・無		
良かった点・改善点等	<p><良かった点や改善した点等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員を各自治会から出していたので、スタッフが増え準備、片付け等が捗った。 ・前年度に備品や機材を購入した効果があり、予算削減できた。特にメインステージ照明等。 								
地域協議会からの意見への対応	<p><地域協議会からの意見（令和4年4月・事業実績報告）> 本年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため行事は中止となりましたが、来年度は、多世代が参加する、地域一体となった祭りとなるよう、自治会連合会を始めとする大塚塚地域の各種団体との連携を深めていただきたい。また、本年度からまちづくり推進委員会との共催事業として、活動交付金を活用しますが、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応> 本年度の活動交付金の活用として、例年委託料として計上するテント、LEDライト、ローリータンク、防災シート等を購入し、自走に向かって準備ができた。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和5年6月・事業計画）> 多世代が参加する、地域一体となった祭りとなるよう、自治会連合会を始めとする大塚塚地域の各種団体と一層の連携を深めていただきたい。また、まちづくり推進委員会との共催事業として、活動交付金を活用するが、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応> 自治会の協力で資金、人員の面でも協力していただいた。地域や企業からの協賛金も頂き、自走事業に向けて一歩前進した。</p>				対応	未・済			
	<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業実績報告）> 雨の中での開催となりましたが、4年降りということもあって、約3千人の入場者で賑わいました。ただ、準備段階での事務分担やまとめ役が明確でなく、準備の進捗状況や実行委員の連携等が十分ではありませんでしたので、今回の祭りをしっかり検証し、来年度の祭りの運営に活かしていただきたい。また、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。</p> <p><意見への対応></p>				対応	未・済			

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業名	まちづくり充実事業	実施年数	10年目												
事業期間	開始：平成26年度	終了：なし													
地域魅力発信プランとの関連	<p>基本目標</p> <p>1. 塚人の育成と絆を結びます。(人づくり・絆づくり)</p> <p>◎広報紙の発行やまちづくり推進委員会の車を活用することにより、地域住民にまちづくり活動を身近に感じてもらい住民主体のまちづくりにつなげていく。</p> <p>2. 安全・安心な大塚の街をつくります。(防災・福祉)</p> <p>◎行事にAEDを持参し緊急時に備える。</p>														
目的 (期待される効果)	大塚地域まちづくり推進委員会の活動の充実と住民主体のまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	<p>(1) AEDのリース</p> <p>(2) まちづくりの車(リース車)を使用して地域を巡回する。</p> <p>(3) 広報紙の発行</p> <p>(4) まちづくり掲示板やまちづくり看板の活用</p> <p>(5) まちづくり充実用品の購入</p> <p>(6) 役員と部会員の旅費</p> <p>(7) まちづくり活動を自治会未加入者や若い世代にも周知できるようにフェイスブックを運営</p> <p>(8) まちづくり推進委員同士の連絡が迅速に確実にできるように令和3年度からマチコミメールを開始</p>														
事業費	1,677,417円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>スタッフ</td> <td>150人</td> <td>170人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>150人</td> <td>170人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業内容に応じて男女別や年代別データ</p>			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	—	—	スタッフ	150人	170人	合計	150人	170人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	—	—													
スタッフ	150人	170人													
合計	150人	170人													
住民の声(アンケートの結果等)	<ul style="list-style-type: none"> フェイスブックやインスタグラム、マチコミメールを活用し情報提供をしているが、ラインなどの活用も検討しながら、迅速且つ正確な情報提供を考えている。 各部会の活動の様子を、他の部会員や地域の方にも理解して頂けるようPR動画を作成し、地域事務所のテレビで流している。 														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度				本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B		広報	⑤事業の周知	B	A	
	②住民の参加	A	A				事業の効果	⑥課題解決への作用	A
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A			⑦住民の満足度			A
	④各種団体との連携	A	A		事業継続の必要性				○有・無
良かった点・改善点等		<p><良かった点や改善した点等> 全体会を4年間ぶりに開催した、まちづくりのPR動画を作成したり、FacebookやInstagramで事業等の案内もした。</p>							
地域協議会からの意見への対応		<p><地域協議会からの意見（令和6年4月・事業計画）> まちづくり推進委員会の活動や地域の情報を住民にいかに関知するかは、重要なテーマです。令和3年2月から広報紙の配布のほか、フェイスブックによる情報発信や広報も始めていますので、来年度も更なるフェイスブックの充実、飛躍をお願いしたい。 <意見への対応></p>						対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	見守り活動事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	194,840	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	194,840	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	1,000	旅費 1,000
4	需用費	45,994	飲料水 5,952 協力依頼用タオル 3,192 ラインパウダー 1,590 道路線引き用スプレー 16,560 はやぶさ会マグネットシート 18,700
5	役務費	51,156	たすきクリーニング代 9,856 倉庫設置・撤去費用 41,300
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	96,690	用具倉庫 83,160 青パト用LED回転灯 13,530
11	積立金		
12	合計 (B)	194,840	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災訓練事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	196,266	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	196,266	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	講師謝金 6,000
3	旅費		
4	需用費	173,716	レトルトカレー、パックごはん 140,716 飲料水、ポリ袋 啓発グッズ 33,000
5	役務費	16,550	保険代 16,550
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	196,266	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

大塚地域自治区
大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災力の向上事業
-----	----------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	59,727	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	59,727	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	59,727	飲料水 11,557 用紙 12,375 インク 35,795
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	59,727	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	防災充実事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	599,360	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	599,360	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	149,360	発電機カバー5枚 23,990 発電機用コードリール 30m 5個 38,000 ソーラー充電式投光器 9,900 エンジンオイル、容器 1,570 ジョイントマット 80枚 75,900
5	役員費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費	450,000	ヤマハインバーター発 電機(5台) 450,000
11	積立金		
12	合計(B)	599,360	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	生活支援事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	12,790	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	12,790	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	12,790	インク 4,840 カラー用紙 4,158 会議用飲料水 3,792
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	12,790	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	スマイル大塚事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	53,113	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	53,113	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	3,000	書道指導の謝金 3,000
3	旅費		
4	需用費	46,313	書道の道具 2,028 上区の菓子代 2,248 中区の菓子・お茶代 5,985 カラー用紙 1,672 インク 6,095 宝塚木製パズルの材料 5,264 宝塚折り紙 1,070 お茶代 2,040 南区もち米代 10,000 中区炊き出し用材料 9,911
5	役務費	1,000	中区保険料 1,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	2,800	上区公民館エアコン代 600 中区公民館使用料 2,200 (ホールとエアコン代)
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	53,113	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	健康づくり事業
-----	---------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	17,525	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	17,525	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	15,125	用紙 4,950 インク 6,095 飲料 4,080
5	役務費	1,000	保険 1,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,400	公民館使用料 1,000 エアコン代 400
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	17,525	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	男女共同参画社会づくり事業
-----	---------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	41,425	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	41,425	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	賃金		
2	報償費	12,000	保育士謝金 12,000
3	旅費		
4	需用費	26,025	用紙 7,425 インク 14,520 飲料水 4,080
5	役務費	2,000	保険 2,000
6	委託料		
7	使用料及び賃借料	1,400	公民館使用料 1,400
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	41,425	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	「やさしいまち大塚」プロジェクト事業
-----	--------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	18,569	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	18,569	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	18,569	カラー用紙 12,474 インク 6,095
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	18,569	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	水流川クリーンアップ事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	439,673	
2	繰越金		
3	負担金	34,936	九州「川」のワークショップin鹿屋実行委員会から旅費として23,336円 参加費(@200×58人)11,600円
4	合計(A)	474,609	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費	66,500	日当(@2,200×7人) 15,400 宿泊費(@7,300×7人) 51,100
4	需用費	234,499	飲料、弁当 41,172 草刈機替刃、燃料 10,986 つかみ取り用アユ 80,000 用紙、インク 48,272 チームタイピン、 ジュニアフローティングベスト 17,580 大型ファミリープール 5,808 パックテスト 12,100 文具 18,581
5	役務費	12,260	保険 8,560 葉書 3,150 振込手数料 550
6	委託料	40,000	草刈り委託費 40,000
7	使用料及び賃借料	121,350	ジャンボタクシー 121,350
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	474,609	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	ダンボールコンポスト事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	102,497	
2	繰越金		
3	負担金	15,500	参加者負担金 (@500×31人)
4	合計(A)	117,997	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	5,000	講師謝金 5,000
3	旅費		
4	需用費	112,997	用紙、文具 7,693 飲料 13,295 水質浄化液材料 3,659 コンポスト材料費 88,350
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	117,997	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

70297

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	ペットマナー向上事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	70,297	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計(A)	70,297	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	29,187	用紙 12,474 インク 6,095 石灰、容器 6,142 ビニール袋 596 草刈機替刃 3,880
5	役務費	4,810	保険 4,480 手数料 330
6	委託料	36,300	広報用マグネット 36,300
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	70,297	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	大塚音頭普及促進事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	21,197	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	21,197	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	7,600	踊り方指導謝金 7,600
3	旅費		
4	需用費	3,744	飲料 3,744
5	役務費	9,853	保険代 1,000 切手代 1,428 クリーニング代 7,425
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	21,197	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	健康増進事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	41,302	
2	繰越金		
3	負担金		
4	合計 (A)	41,302	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	6,000	講師謝金 6,000
3	旅費		
4	需用費	29,468	用紙 11,125 インク代 6,095 飲料 8,832 文具 3,416
5	役務費	5,834	保険代 2,000 切手代 3,834
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	41,302	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業
-----	-------------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	6,431	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計 (A)	6,431	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	6,431	毛糸・竹とんぼ 3,440 飲料 2,991
5	役務費		
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	6,431	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	江南小学校地区体育祭共催事業
-----	----------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	62,200	
2	繰越金	0	
3	負担金	0	
4	合計(A)	62,200	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	50,560	玉入れ用カラー玉 50,560
5	役務費	11,640	切手、はがき代 11,640
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	62,200	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	大塚町体育祭共催事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位:円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	160,103	
2	繰越金	0	
3	負担金	534,609	自治会負担金534,609円
4	合計(A)	694,712	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費		
3	旅費		
4	需用費	634,692	用紙代 1,311 インク代 8,550 花火・紙雷管 16,100 弁当・飲料代 96,916 ポリ袋・文具・電池 16,645 競技用用品 10,858 衛生用品・熱中症対策 13,738 参加賞品代 470,574
5	役務費	60,020	保険代 57,200 前日保険代 2,160 手数料 660
6	委託料		
7	使用料及び賃借料		
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	694,712	
収支差額(A) - (B)		0	

(様式第 6 号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	祭り大塚共催事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	745,947	
2	繰越金		
3	負担金	673,398	祭り大塚協賛金 536,398 祭り大塚出店料 110,000 ステージ出演料 27,000
4	合計 (A)	1,419,345	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	賃金		
2	報償費	128,632	司会者 74,000 出演料 50,000 景品 4,632
3	旅費		
4	需用費	172,982	弁当代 80,125 ガソリン、軽油 18,542 カップ、容器 9,595 文具 10,622 飲み物 7,318 氷 7,180 ポスター印刷 39,600
5	役務費	89,584	初穂料 10,000 保険料、手数料 42,534 ごみ処理ほか 21,300 葉書 15,750
6	委託料	936,197	会場設営、発電機ほか 115,412 会場設営、什器等 297,000 足場工事 88,000 電気工事 172,700 照明、音響一式 60,000 誘導警備員 (8人) 141,900 協賛看板 54,285 し尿汲み取り料 6,900
7	使用料及び賃借料	91,950	送迎バス 66,000 冷凍冷蔵庫 (2 t) 22,550 公民館使用 3,400
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	1,419,345	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第6号)

事業別収支計算書

大塚地域自治区

大塚地域まちづくり推進委員会

事業名	まちづくり充実事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	基礎交付金	252,336	
2	繰越金	1,425,043	
3	その他	38	災害対応積立基金より15円 銀行利息23円
4	合計(A)	1,677,417	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内訳
1	手当	368,237	事務局職員時間外手当
2	報償費		
3	旅費	171,000	部会員、役員活動費
4	需用費	373,157	SSD交換 20,900 掲示板修理板、鍵 37,376 ベスト 3,960 文具、インク 265,971 会議用水 20,615 ガソリン 24,335
5	役務費	159,363	郵便代 21,748 保険代 7,790 電話代、インターネット 129,275 手数料 550
6	委託料	192,500	広報紙 192,500
7	使用料及び賃借料	413,160	リース車代 356,400 AED使用料 56,760
8	工事請負費		
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計(B)	1,677,417	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和6年5月1日

宮 崎 市 長 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市大塚町鎌ヶ迫2296番地3
名 称	大塚地域まちづくり推進委員会
代表者の氏名	会 長 松田 博
電 話 番 号	53-4047

令和6年1月17日付で交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において1,141,402円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

繰越金内訳

基礎交付金	1, 141, 402円
特例交付金	0円

添 付 書 類

令和5年度収支決算（見込）書

大塚地域自治区地域協議会
会長 井福 経晏 ㊞

令和5年度の大塚地域自治区のまちづくり事業実施報告及び収支決算について、事業計画及び収支予算に沿って適正に執行されていまして、承認いたします。

なお、承認に際し、下記の意見がありましたので、対応を検討いただきますようお願いいたします。

記

1 総括

まちづくり推進委員会は、「まちづくり実践組織」として、各種団体と連携したまちづくり活動の中心的役割を担っており、「次世代も 笑顔あふれる 幸せな街 大塚」の実現のために、その活動は地域にとって非常に重要です。

大塚地域においては、活動者の固定化・高齢化、住民のまちづくりへの関心の低迷、事業参加者の減少等の課題を抱えながらも、日々活動に取り組み、各部会では「大塚地域まちづくりビジョン」の基本目標や重点項目に係る事業が実施されています。

先般、地域協議会で実施した「大塚地域まちづくりビジョン」の検証結果を意見書にまとめ、まちづくり推進委員会に提出していますので、意見書に挙がっている実施されていない重点項目の実施に向けても検討いただき、是非、ビジョンを達成していただきたい。

また、事業効果の検証、必要性の精査を行い、住民のニーズと合致した事業を展開していただきたい。

2 事業の推進体制

防災部会、福祉部会、環境部会、スポーツ・レクリエーション部会の4部会が地域の各種団体や学校と連携して事業を実施しています。活動者が固定化するなかで、効率的に事業を実施するためにも、また活動者の負担を軽減するためにも、各分野で専門的知識等を持つNPOなどの団体と連携を図り、事業の実施を検討していただきたい。

また、次代を担う人材の確保は大塚地域においても喫緊の課題ですので、「まちづくりサポーター」等による新たな人材の確保並びに各部会でのリーダー育成のための研修も是非実施していただきたい。

3 各事業への意見（意見のある事業のみ記載）

事業名	意見
見守り活動事業 (15年目)	警察や地域団体との情報交換会や小学校が開催する交通安全教室への参加を通し、学校や警察機関等と情報を共有しながら、来年度も、見守り活動組織、青色防犯パトロールを支援し、地域に根ざした地域の安全確保に努めていただきたい。

事業名	意見
防災訓練事業 (15年目)	本年度は、防災訓練を防災倉庫の点検や防災研修とした地区やコロナ前どおり住民参加の防災訓練を実施した地区と、自治会の判断により訓練内容が様々でしたが、来年度は、防災部会が更に地域の防災を担う組織として、自治会とともに訓練内容の検討や参加者数の低迷、子どもたちや子育て世代の参加が少ない等の課題の解決を図っていただきたい。
防災力の向上事業 (12年目)	本年度は、計画通りに事業を実施されましたが、地域防災の向上には、リーダーの存在が重要であり、専門知識を有し、やる気のある防災リーダーの育成は、早急に取り組むべき課題です。来年度は、自主防災隊と連携を密にし、リーダーの育成に取り組んでいただきたい。
防災充実事業 (12年目)	災害時に住民の自助・共助が円滑に行えるように、来年度も、地域で必要な防災機器・用品を把握し、整備していただきたい。
生活支援事業 (7年目)	チーム大塚の会議の中で、市や地域包括支援センターと一緒に、「住み慣れた大塚・江南地域で、いつまでも安心して暮らしていけるように、困っている人を地域ぐるみで支える仕組みづくり」を進めているので、来年度も引き続き協議を重ね、出来るだけ早い時期に、大塚地域の生活支援分野の事業を確立してほしい。
スマイル大塚事業 (14年目)	引き続き、子どもから高齢者まで誰でも立ち寄れる居場所を作り、3世代交流や地域住民同士の親睦を深めていただきたい。
健康づくり事業 (7年目)	今年度は、生活習慣病予防についての講座を実施されました。普段の生活や食生活を見直すきっかけになったと大変好評でしたので、来年度も事業内容を吟味し、住民の健康促進を図っていただきたい。
男女共同参画 社会づくり事業 (15年目)	本年度は、若い親御さん向けに「我が子に、性について話ができる機会を作ろう」と性教育の講座を開催されました。参加者は子連れ可とし、子どもは別に預かったもので、親御さんもゆっくり聞けて良かったと喜ばれていました。講座の内容も好評だったので、来年度も継続を含めて、事業内容を検討していただきたい。
「やさしいまち大塚」 プロジェクト事業 (3年目)	来年度も引き続き、事業の目的、特にステッカー作成の趣旨を丁寧に住民に説明し、また、チラシ等により住民の理解が得られるよう事業の周知徹底を図っていただきたい。
水流川 クリーンアップ事業 (13年目)	来年度も引き続き、住民の川への思いや環境に対する意識の向上を図っていただきたい。特に「江南小学校の環境学習サポート」は、先生も熱心に取り組んでおられ、学校と地域が連携した素晴らしい内容になっていますので、モデル事業として大塚地域外にも積極的に広報し、多くの人たちに知っていただきたい。

事業名	意見
ダンボールコンポスト事業 (12年目)	ダンボールコンポストは地域にかなり普及し、確実に、生ごみの減量化が図られていますので、来年度も引き続き、環境についての意識が更に向上するよう推進していただきたい。
ペットマナー向上事業 (9年目)	来年度も引き続き、ペット飼育者のマナーの向上と地域住民同士の絆づくりを図っていただきたい。
大塚音頭普及促進事業 (11年目)	本年度は、地域や学校から指導要請があり、指導の機会が増えつつありますので、来年度は更に地域行事や学校行事へ大塚音頭を組み入れていただくよう積極的に広報し、大塚音頭の普及を図っていただきたい。また、スポーツレクリエーション部会と大塚音頭保存会の密なる連携を図りながら、事業を展開してほしい。
健康増進事業 (6年目)	街中オリエンテーリングは、開催期間内に自由な時間で参加できるという気軽さが好評で、参加者も多く、事業目的は十分果たされましたが、ニュースポーツ体験とストレッチ体操は参加者が少なかったので、広報を工夫し、参加者の確保に努めていただきたい。
昔の遊びとニュースポーツに挑戦事業 (13年目)	本年度は、大塚小祭り、江南小フェスタに、竹とんぼの達人と折り紙の達人を招き、竹とんぼや折り紙、あやとり、お手玉などの昔の遊びを体験しました。また、ニュースポーツではラダーゲッターにチャレンジし、参加した多くの子ども達は、楽しそうに、真剣に取り組んでいました。今回も、大塚小・江南小ともにPTAと一体となった運営がなされ、事業の目的は、十分達成されましたので、来年度も、PTAとの連携を密にし、一層の事業の充実を図っていただきたい。
大塚町体育祭共催事業 (13年目)	晴天の下、3年振りに自治会、大塚地区体育会、スポーツレクリエーション部会、住民の方々が一体となった体育祭が開催され、久しぶりに、子どもから高齢者まで、楽しく体を動かし、異世代交流を深めました。ただ、まちづくりとの共催事業であることがあまり周知されていませんでしたので、まち推ののぼり旗を増やすなど、もっとPRしていただきたい。
祭り大塚共催事業 (3年目)	雨の中での開催となりましたが、4年振りということもあって、約3千人の入場者で賑わいました。ただ、準備段階での事務分担やまとめ役が明確でなく、準備の進捗状況の把握や実行委員の連携等が十分ではありませんでしたので、今回の祭りをしっかり検証し、来年度の祭りの運営に活かしていただきたい。また、将来的には、活動交付金に依存しない、全くの自走事業となるよう、更なる自主財源の確保を図っていただきたい。

事業名	意見
まちづくり 充実事業 (10年目)	まちづくり推進委員会の活動や地域の情報を住民にいかに関知するかは、重要なテーマです。令和3年2月から広報紙の配付のほか、フェイスブックによる情報発信や広報も始めていますので、来年度も更なるフェイスブックの充実、飛躍をお願いしたい。

4 その他